

	市町名	松山市		
	公民館名	道後公民館		
		地区館		
	連絡先(Tel)	089-921-0430		
ホームページアドレス	http://www.matsuyama-people.jp/region/dougo/			
事業分野	A 人づくり	事業名	コメコメツアー	
趣旨・目的	出会い・ふれあい・遊び・学び・感動の家族共有体験事業			
対象	小学生(1~6年生)・未就学	参加人数	約300名	
<p>〈事業内容〉</p> <p>(1)地区の概要 道後地区は、歴史と文化のあふれる町である。一羽の鷺に始まる道後温泉には、3千年の歴史があり、多彩に刻みつけられた風物とその風情には温泉の温かさがあり、明治27年(1894年)に建てられた道後温泉本館を中心に約2万5千人が住んでいる。 種田山頭火がよく歩いたとされる道は舗装され、両側に広がっていた田畑は住宅地になり、多くの観光客を迎える高層ホテルと同じ位にマンションの数が増え、昔ながらの住宅は少なくなってきた。</p>				
<p>(2)活動の内容 平成10年6月にバケツに田植えを行い、10月にバス3台で重信へ出向き、稲こぎ体験・脱穀と精米の見学、そして、おむすびの集いの企画をしたとき、青少年教育部員が「コメコメツアー」と名づけようと話し合った。その後、バケツの田植えと、もちつき大会は続いていたが、年間事業計画を立てる際、「コメコメツアー」は水田で田植えを体験させたいという願いが大きくなっていった。道後地区には水田がなかったので実現困難だと思っていたが、平成18年に宮本前館長のお兄さんが、地域のためにと宿野町の水田を体験の場に提供してくださった。ここから「コメコメツアー田植えにチャレンジ」が始まった。田植えからの88の手間は宿野町の人たちに協力支援をいただいている。</p>				
<p>(3)成果(目的達成・評価) 田植え・稲刈りは、親子で参加し自然の中でのコミュニケーションが図られている。もちつき大会では地域の高齢者との交流があり、約300人の参加がある。参加者から、毎年続けてほしいとの声が多く、高評価を得ている。</p>				
<p>(4)秘訣(うまくいっている理由) 青少年教育部会は毎年5月初めに、第一回の部会を開き、部員は道後中学校・道後小学校・湯築小学校のPTA社会教育部員から各3名、子ども会代表と有志で構成され80%は新しい部員である。計画に当たっては、必ず事業ごとのふりかえりと前年度の反省点や各学校で公民館行事に参加した役員の報告書を参考にしている。また、親子での自然体験を通じて共感の喜び、さまざまな交流や思い出を共有することを大切にしている。</p>				
<p>(5)今後の展開(抱負・課題) コメコメツアーは、出会い・ふれあい・遊び・学び、感動の家族の共有体験であり、子どもたちにとっては楽しく体を動かし自然の中で共感しあう体験となっている。そして人と人、人と自然の豊かなふれあいは、もちつき大会や七草がゆの集いで地域社会の新しい絆づくりとなっている。コメコメツアーがキーワードとなって、野外活動、郷土文化学習、国際交流、多世代交流など展開していくことが、のぞまれる。 子どもたちが自然を愛し、命を大切にすることを育み、共同、協力する体験に積極的に取りこんでいくように、田植えの後にどんな世話をするのか、稲の花が咲く頃に自由参加での企画をという声もあるので実現させたい。高齢者交流については、ふれあいゲームを取り入れるなど部員の知恵を集めていきたい。 コメコメツアーが続いているのは地域の支援者のおかげであり、感謝をもって、青少年教育部の事業を進めていきたい。</p>				

